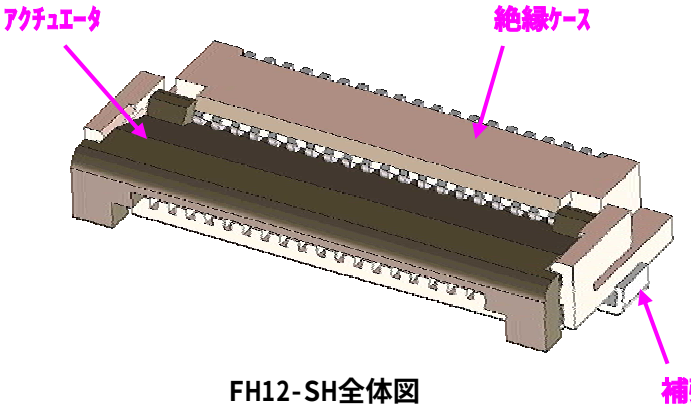
2011.06.08
ヒロセ電機株式会社
技術本部MPC事業部
MPC技術部FH技術課

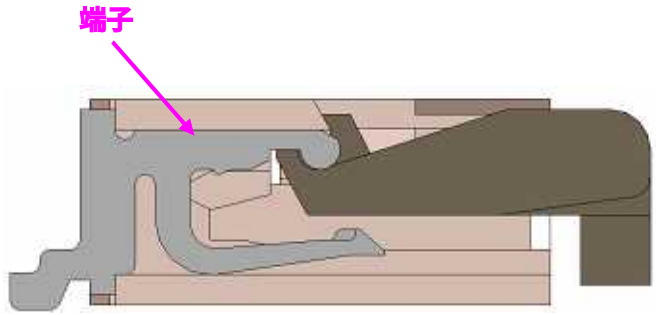
【ＦＨ１２－ＳＨシリーズ取扱説明書】

本コネクタは、作業取扱いについて注意が必要ですので、以下の内容をご確認の上ご使用ください。

【ＦＨ１２－ＳＨシリーズ部品名】



FH12-SH全体図



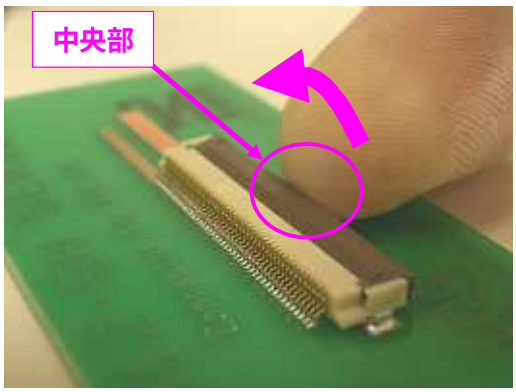
FH12-SH断面図

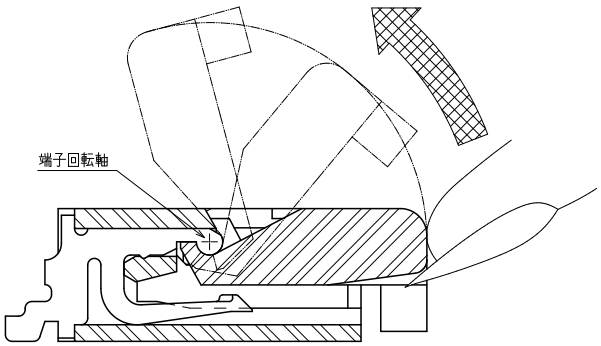
【作業方法および注意事項】

1．アクチュエータのロック解除方法

◆作業方法

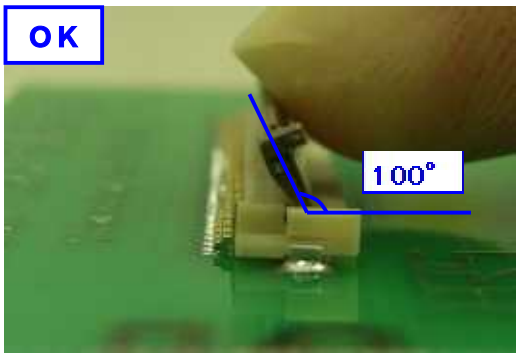
アクチュエータ中央部付近を指で上方向に押し上げます。その際、右下図のように、コネクタは端子回転軸を中心に回転しますので回転動作させるように操作してください。

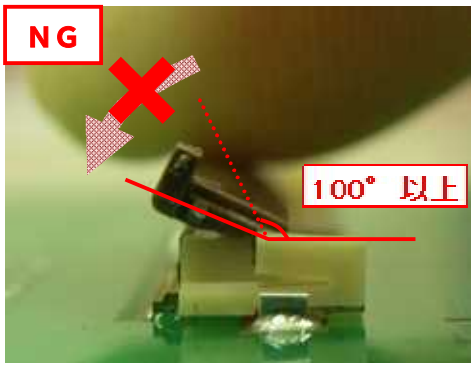




◆注意事項

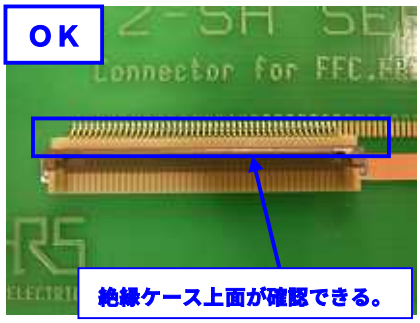
①アクチュエータは１００°以上開かないでください。アクチュエータが外れたり、破損する可能性があります。



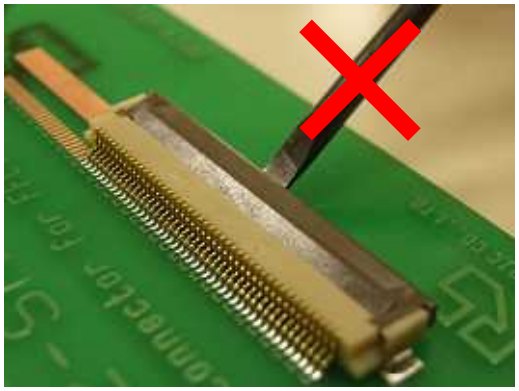


【参考】アクチュエータ開き(１００°)目安

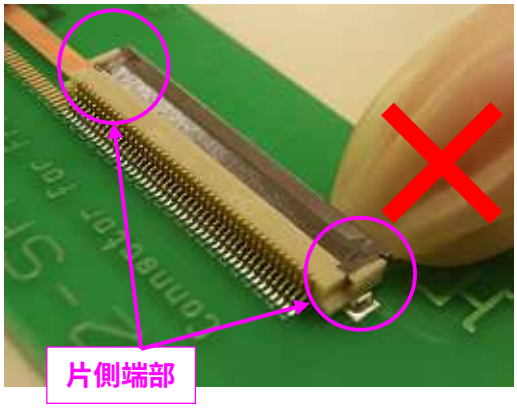
コネクタ上面から目視し、絶縁ケース上面が見えているか確認してください。



②アクチュエータのロック解除の際は、ドライバー等の先端の薄い工具を使用してのロック解除は行わないでください。端子を変形させる原因となります。



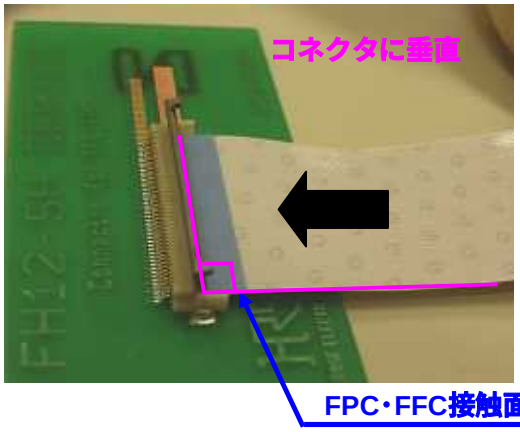
③アクチュエータを片側端だけで操作を行わないでください。絶縁ケースに指が引っかかり、絶縁ケースが破損する可能性があります。

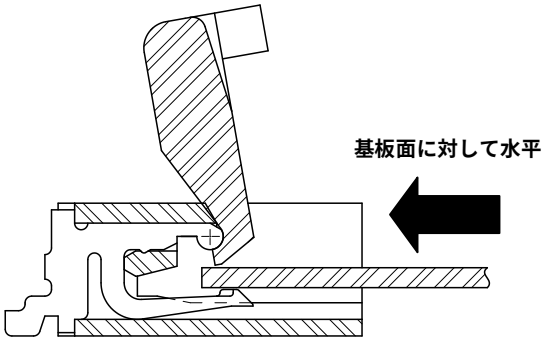


2．FPC･FFCの挿入方法

◆作業方法

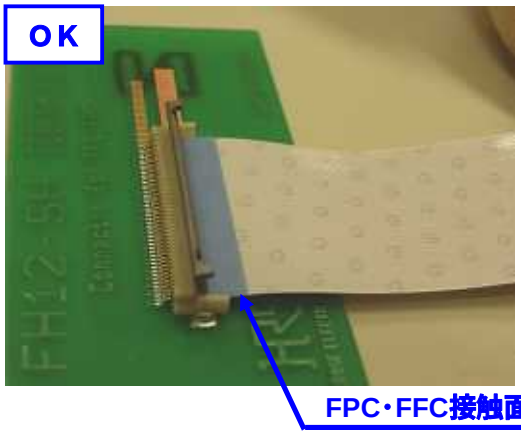
ＦＰＣ･ＦＦＣは接触面(導体露出面)を下にし、基板面に対して水平かつ、コネクタに対して垂直になるように挿入し、奥まで確実に挿入してください。

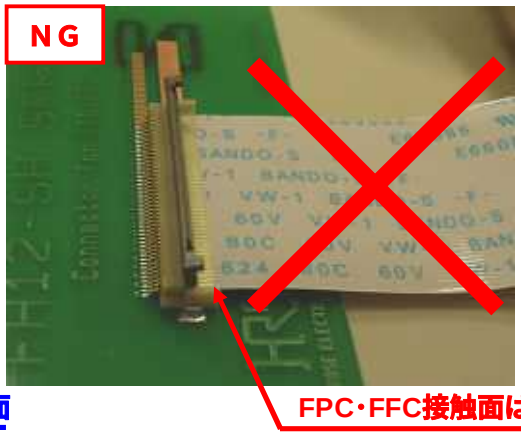




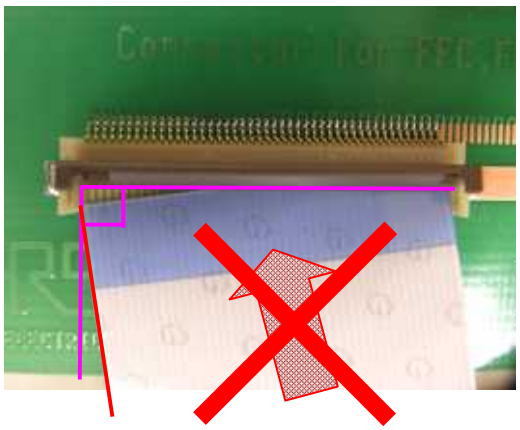
◆注意事項

①ＦＰＣ･ＦＦＣは接触面を上面にしないでください。導通しません。



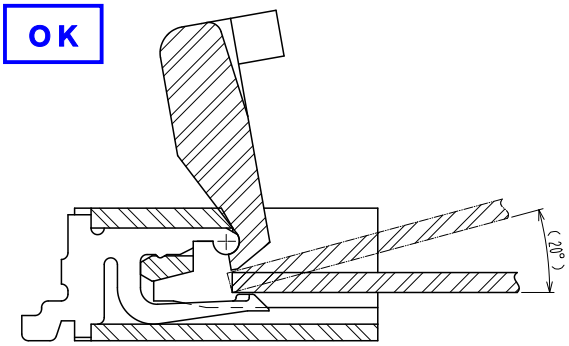


②ＦＰＣ･ＦＦＣを斜めに挿入すると、ピッチズレによりショート不良となったり、ＦＰＣ･ＦＦＣの角が端子に引っかかり、端子変形させる原因になることがあります。

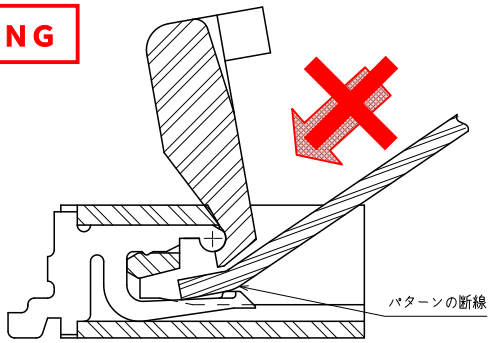


③ＦＰＣ・ＦＦＣを著しく斜め上方向から挿入しないでください。
下図のようにＦＰＣ・ＦＦＣを斜めから挿入した場合、ＦＰＣ・ＦＦＣが屈曲し、パターンが断線したり、ＦＰＣ・ＦＦＣが十分に挿入されず、導通不良の原因になることがあります。

OK



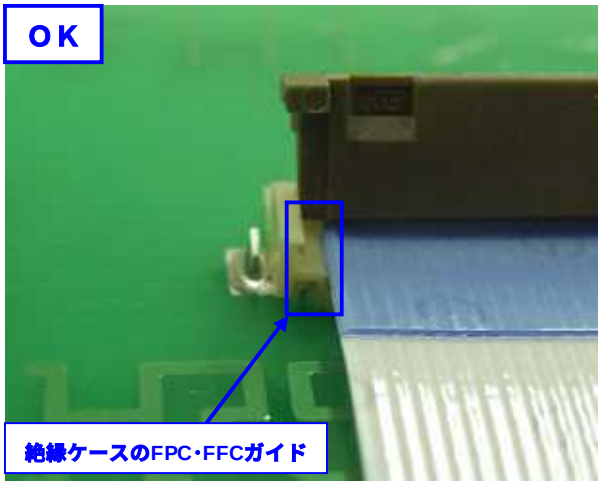
NG



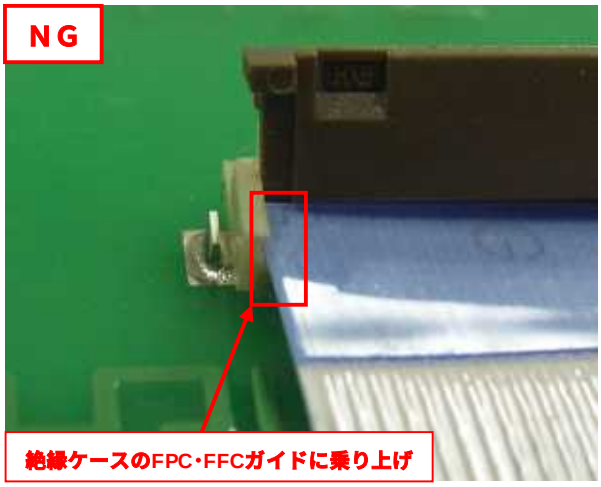
挿入角度の目安：0～20°

④ＦＰＣ・ＦＦＣが絶縁ケースのガイドに乗り上げていないことをご確認ください。ガイドに乗り上げたまま、アクチュエータをロックしますと、アクチュエータが外れたり、破損する可能性があります。

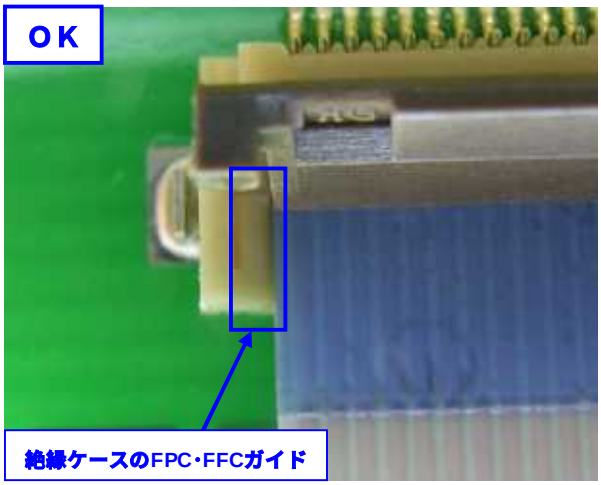
OK



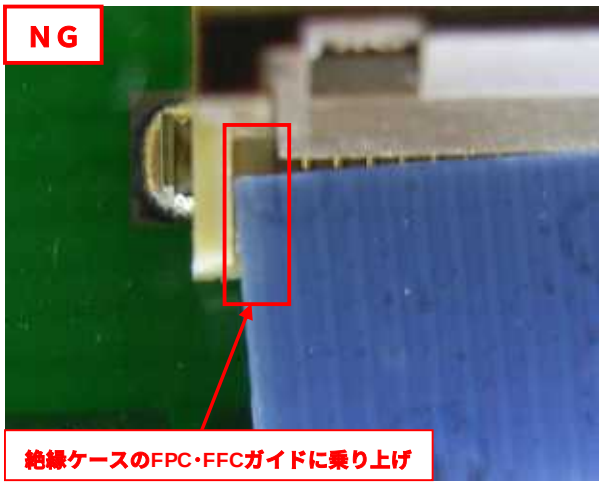
NG



OK



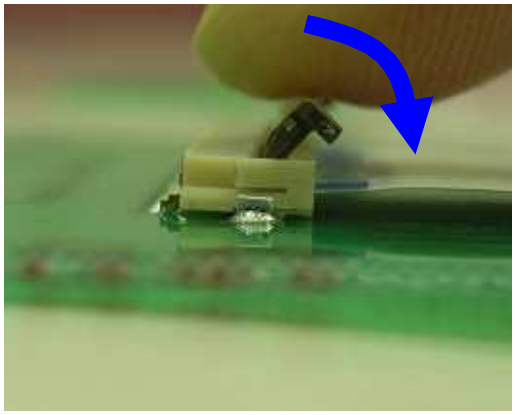
NG

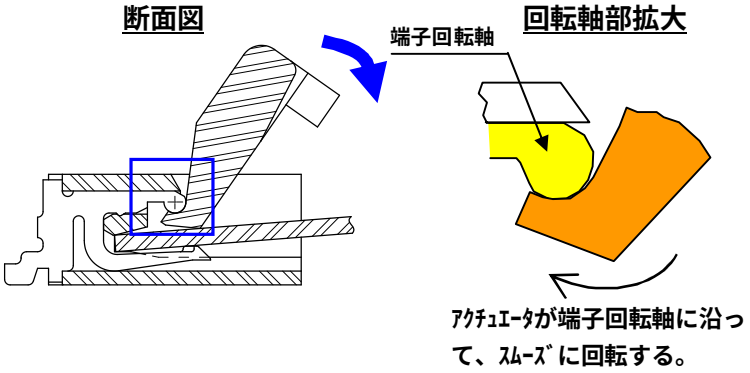


3．アクチュエータのロック方法（FPC･FFC嵌合）

◆作業方法

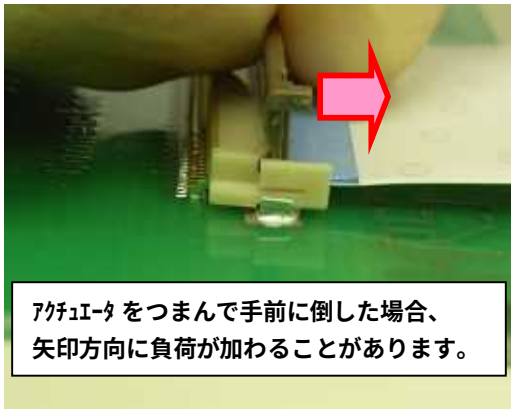
アクチュエータを押し下げてロックしてください。ロック作業時は、端子回転軸とアクチュエータが離れないように、追従させるように矢印方向に力を加えてください。

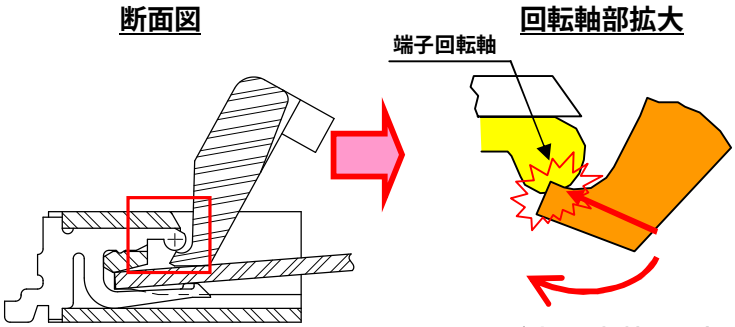


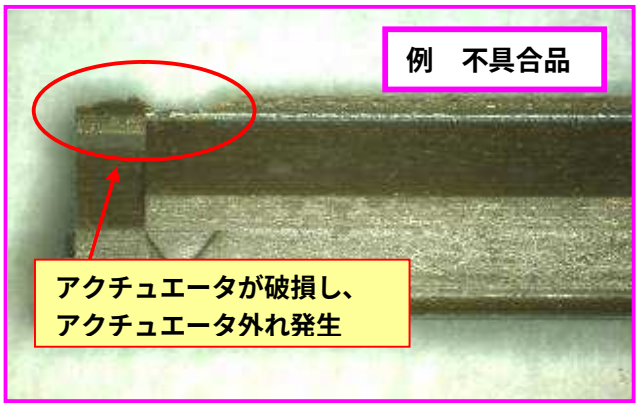


◆注意事項

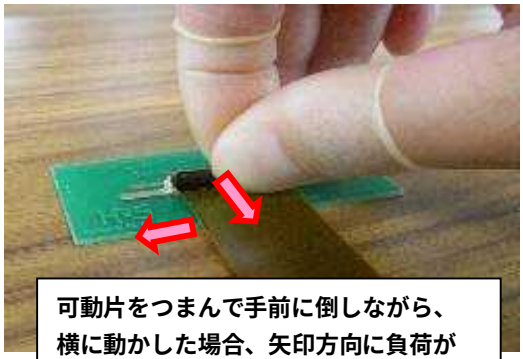
①アクチュエータに矢印方向の負荷を与えないでください。アクチュエータ回転軸と端子回転軸がずれ、アクチュエータが外れたり、破損する可能性があります。

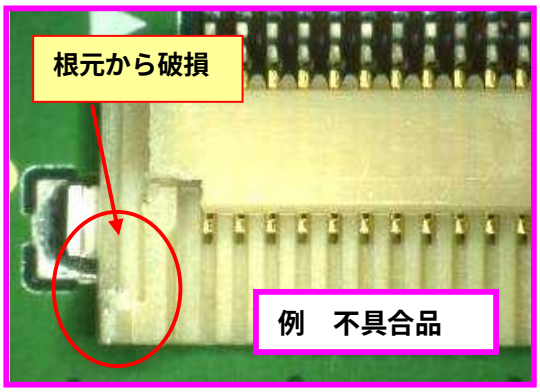




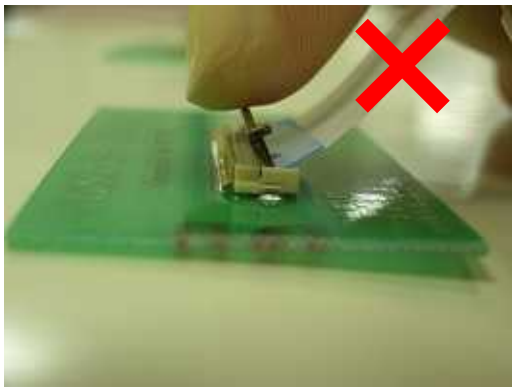


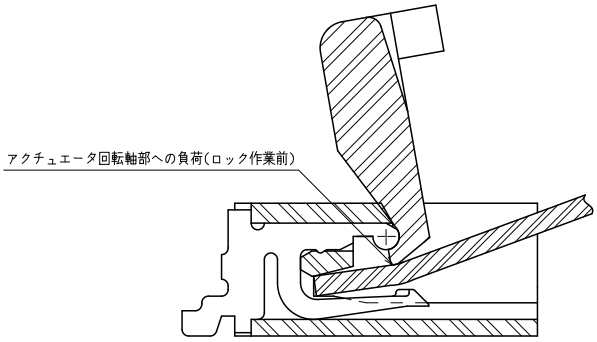
②アクチュエータに矢印方向の負荷を与えないでください。絶縁ケースが破損し、アクチュエータが外れる可能性があります。



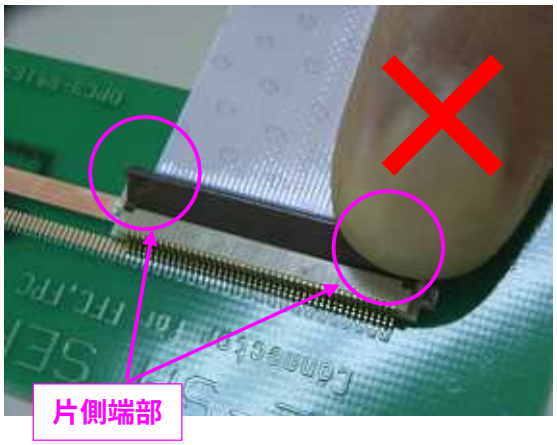


③ＦＰＣ・ＦＦＣに角度をつけた状態のまま、ロック作業を行わないでください。ロック作業前から常にアクチュエータ回転軸に負荷がかかるため、アクチュエータ回転軸と端子回転軸がずれて、干渉するため、アクチュエータがスムーズに回転せず、アクチュエータが外れたり、破損する可能性があります。



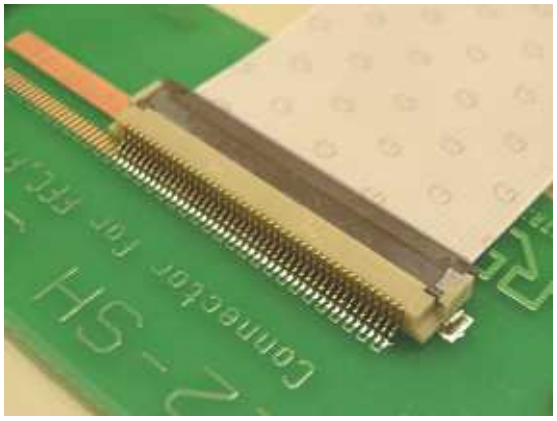


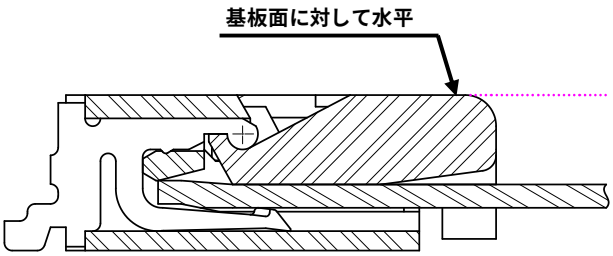
④アクチュエータを片側端だけで操作を行わないでください。アクチュエータに過度な力が加わり、破損したり、接触不良になる可能性があります。



4．ロック状態の確認

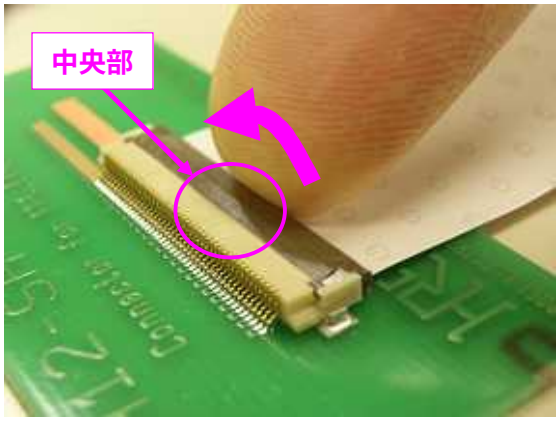
アクチュエータが基板面に対して水平になったことを確認してください。
アクチュエータが0°付近になりましたら、過度な負荷がかからないようにしてください。





5．アクチュエータのロック解除方法（ＦＰＣ・ＦＦＣ抜去）

◆作業方法
アクチュエータ中央部付近を指で上方向に押し上げます。



◆注意事項

アクチュエータを片側端だけで操作を行わないでください。絶縁ケースに指が引っかかり、絶縁ケースが破損する可能性があります。